

慶雲寺報

NEWS

*2010夏 慶雲寺子供坐禅会 報告!

去る7/26、昨年に引き続き、慶雲寺単独主催の「子供坐禅会」を開催いたしました。

昨年より募集人数を増やし、スケールアップ。2年連続の参加者もあり、厳しさの中にも、賑やかさや楽しさを織り込みながら、昨年同様、有意義な夏の日を過ごすことができました。



午前中は、自分自身としっかりと向き合う坐禅の時間。と昨年も好評であった、鳴らし物体験を実施。子供たちは、お手伝いの若手和尚さま方と共に、より良い音を求めて鐘や木魚に触れていました。
午後は、駐車場の手押しポンプを使つての、バケツリレー競争・折り紙で作る六地藏などを企画し、楽しいひと時を過ごしました。

* * *

「お寺で坐禅」というと、「コワイ!痛い!というイメージが先行しますが、【お寺で楽しく】を指して開催しております。「修行に出すぞ!」と脅しをかけることなく、お子さまやお孫さまを、ぜひ参加させてみてください。

*絵本を届ける運動募金箱報告

慶雲寺では、仏教国カンプोजア・ラオスの難民キャンプの子供たちに、現地語の訳文を付した絵本を届けようという運動に賛同し、堂内に募金箱を設置してあります。



前回集計以降、**10434円**の浄財が寄せられました。善意を寄せていただいた皆様に、心より御礼申し上げます。
昨年送り出した30冊は、この春現地に到着したそうです。また機を見て、絵本を送り出したいと考えております。

目標額は、30冊分約6万円

引き続き募金箱を設置しますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成二十二年 度

初穂米献供功德主

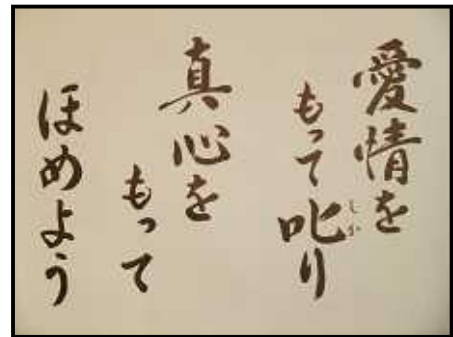
為 当在先祖代々報恩感謝

- 田中 繁 殿(町田)
- 中里 千司 殿(天王原)
- 渡辺 美郎 殿(北ノ内)
- 斎藤 澄夫 殿(新谷)
- 大森 祐治 殿(瓜間)
- 斎藤チカ子 殿(久部) 十月三十日現在
- 斎藤 宏行 殿(町田) 献供順

ご先祖様から受け継いだ田んぼで取れた新米をお供えいただきました。心を込めて炊き上げ、功德主の皆様の想いを込めて、本尊様に朝のお仏餉としてお供えいたしました。

伝道掲示板から

本山の坐禅堂で、先輩修行僧に警策(きょうさく)きょうさく)で、肩をパシんと叩かれたことを思い出します。



上の空で坐禅に身が入っていない時に、「共に、しっかりと取り組もう!」と《励ましの想い》で授けるのが、警策の本来の意味であります。決して《罰》として行われているものではありません。パシンという乾いた音には、私のことをおもんばかった、先輩からの熱い思いが込められていたのです。

憎らしいという思いから生まれる、怒りに満ちた叱責や体罰はもつてのほかです。今日もまた報道される幼児虐待のニュースには、胸が痛みます。大切なのは、相手のことをおもんばかり、しっかりと向き合うということではないでしょうか? 向き合つてこそ生まれた叱責や褒め言葉は、必ず胸に響くはず。先輩からいただいた警策は、今でもしっかりと私の中に息づいています。

さんもんたいせいきえ

山門大施食会が行われます

別紙案内の通り、十一月十六日(火)午後1時半より、年に1度の慶雲寺施食会(せじきえ)法要が営まれます。檀信徒各家の先祖供養のこの日、お時間お繰り合わせいただき、お参りのうえお塔婆をお受けください。